

第66回 通常総会議案

期日：令和4年4月22日(金)14:00～16:35

会場：ウインクあいち 小ホール1
オンライン(Zoom)併用開催



第66回 通常総会

1. 令和3年度事業報告 (第1号議案)
2. 令和3年度決算報告および監査報告 (第2号議案)
3. 令和4年度支部役員 (案) (第3号議案)
4. 令和4年度事業計画
5. 令和4年度予算
6. 特別会員表彰・永年会員表彰・地盤工学貢献賞表彰・中部支部賞表彰

(1) 特別会員の表彰

〔表彰特別会員 (60年) : 4団体〕

株式会社大林組名古屋支店	2級
鹿島建設株式会社中部支社	2級
大成建設株式会社名古屋支店	2級
清水建設株式会社名古屋支店	3級

〔表彰特別会員 (50年) : 3団体〕

青葉工業株式会社名古屋支店	4級
川崎地質株式会社中部支社	4級
基礎地盤コンサルタンツ株式会社中部支社	3級

〔表彰特別会員 (35年) : 2団体〕

中部土質試験協同組合	4級
東海旅客鉄道株式会社建設工事部	4級

〔表彰特別会員 (25年) : 2団体〕

東邦ガス株式会社	4級
国土交通省中部地方整備局中部技術事務所	4級

(2) 永年会員の表彰

清水 正義 氏
三原 芳夫 氏
宿里 勝信 氏
岩田 良明 氏
山浦 直人 氏
若山 悦昭 氏
宮沢 洋介 氏
横田 雅良 氏
片平 宏 氏

(3) 功労章の表彰

梅崎 健夫 氏 (信州大学)
古本 吉倫 氏 (長野工業高等専門学校)

(4) 中部支部賞(研究奨励賞)の表彰

中村 宏樹 氏(名城大学大学院)

「堤防模型実験による基盤排水工の変状抑制効果の検証」

(5) 中部支部賞(技術賞)の表彰

八嶋 厚 氏(岐阜大学)

「振動を用いたグラウンドアンカー残存緊張力の現場計測

ートンネル内重交通および過緊張条件下における挑戦ー」

国土交通省飯田国道事務所、矢作建設工業(株)、(株)テクノサポート

「軽量盛土を使用した切盛複合補強土壁工法による災害復旧」

(6) 中部支部賞(功績賞)の表彰

山田 誠 氏(株式会社大本組)

目 次

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告	1
第 2 号議案 令和 3 年度収支決算報告および令和 3 年度監査報告	1 1
第 3 号議案 令和 4 年度支部役員（案）	1 6
令和 4 年度事業計画	1 9
公益社団法人地盤工学会中部支部規程.....	2 3
本部理事・第 9 期代議員・顧問・事務局名簿	2 5

第 1 号議案

令和 3 年度事業報告

1. 第 65 回通常総会

年月日	会 場	参加人数	内 容
R3.4.16	Zoom によるオンライン開催	126 名 (委任状 237) [3 月会員数 619 名+94 社]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度事業報告 ・ 令和 2 年度決算報告および会計監査報告 ・ 令和 3 年度事業計画 ・ 令和 3 年度予算 ・ 令和 3 年度支部役員

※支部総会は支部に所属するすべての会員の委任状を含む 20 分の 1 以上の出席をもって成立する

2. 商議員会

議長：前田 健一

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R3.4.16	Zoom によるオンライン開催	10 名 (委任状 21)	(第 1 回幹事会と合同開催) 報告事頁 ・ 各委員会・部会活動 承認事頁 ・ 第 65 回通常総会議案書
2	R3.10.22	Zoom によるオンライン開催	8 名 (委任状 17)	(第 3 回幹事会と合同開催) 報告事頁 ・ 各委員会・部会活動 承認事頁 ・ 令和 3 年度地盤工学会賞, 事業計画賞 ・ 令和 4 年度事業計画, 予算案
3	R4.1.22	Zoom によるオンライン開催	13 名 (委任状 11)	(第 4 回幹事会と合同開催) 報告事頁 ・ 各委員会・部会活動 承認事頁 ・ 令和 3 年度の支部事業報告・決算(見込み) ・ 令和 4 年度事業計画, 予算案 ・ 令和 3 年度支部賞表彰者の選考

3. 代議員会

議長：中井 健太郎

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R3.6.28,30	Zoom によるオンライン開催	11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代議員会の役割について ・ 支部表彰委員会への委員選出について ・ 特別会員増加策について ・ 支部活動活発化に対する意見交換 ・ 本部支部連絡協議会について
2	R3.12.1～	メール審議		<ul style="list-style-type: none"> ・ 代議員会の役割について ・ 会長, 副会長選挙について

4. 幹事会

議長：小林 陸

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R3.4.16	Zoom によるオンライン開催	23 名	(第 1 回商議員会と合同開催) 報告事項 ・ 各委員会・部会活動 承認事項 ・ 第 65 回通常総会議案書
2	R3.7.30	Zoom によるオンライン開催	37 名	1. 会員の移動状況 2. 各委員会報告 3. 理事会報告など協議

3	R3.10.22	Zoom による オンライン開 催	20 名	(第 2 回商議委員会と合同開催) 報告事項 ・各委員会・部会活動 承認事項 ・令和 3 年度地盤工学会賞, 事業計画賞 ・令和 4 年度事業計画, 予算案
4	R4.1.22	Zoom による オンライン開 催	20 名	(第 3 回商議委員会と合同開催) 報告事項 ・各委員会・部会活動 承認事項 ・令和 3 年度の支部事業報告・決算(見込み) ・令和 4 年度事業計画, 予算案 ・令和 3 年度支部賞表彰者の選考

5. 本部支部連絡会議

支部事務局, 代議員

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R3.7.12	Zoom によ る会議	代議員 41 名 支 部 14 名 本 部 19 名	・本部支部間の意見交換 1.会長挨拶 2.昨年度の本部支部連絡協議会のレビュー 3.本部支部間の意見交換 4.報告事項 5.その他

6. 委員会・部会

委員会・部会および委員長

委 員 会 ・ 部 会		委 員 長
① 企画委員会		中野 正樹 (名古屋大学)
② セミナー部会	(地盤工学に関するセミナー運営委員会)	久保 裕一 (中部土質試験協同組合)
③ 技術報告会部会	(調査・設計・施工技術報告会運営委員会)	神谷 浩二 (岐阜大学)
④ シンポジウム部会	(中部地盤工学シンポジウム運営委員会)	藤井 幸泰 (名城大学)
⑤ 見学会部会	(見学会運営委員会)	◎ 永尾 拓洋 (東海旅客鉄道(株))
⑥ 信州地盤部会	(信州地盤環境委員会)	古本 吉倫 (長野工業高等専門学校)
⑦ 若手技術者部会	(若手技術者の会)	◎ 松田 達也 (豊橋技術科学大学)
⑧ シニア部会	(シニア活性化委員会)	利籐 房男 (名古屋大学)

(◎ : 令和 3 年度より委員長)

(1) 企画委員会

委員長 : 中野 正樹

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R3.7.9	Zoom による 遠隔会議	11 名	・ 事業企画戦略室からの議題一支部交付金の廃止に伴う今後の支部運営について ・ 支部事務局からの提案について (企業ロゴの学会 HP への掲載, 公益財団法人愛知県都市整備協会との協定など) ・ 熱海の災害調査対応, ほか
2	R3.10.14	Zoom による 遠隔会議	8 名	・ 来年度の事務局について ・ 9 期代議員の支部推薦の候補者について ・ 次年度の部会について ・ 令和 2 年度事業企画賞および審査員の推薦について ・ 学会誌優秀業績 2 次選考委員の推薦について,

				ほか
--	--	--	--	----

(2) セミナー部会 (地盤工学に関するセミナー運営委員会) 委員長：久保 裕一

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.3.13	メール審議	令和2年度 セミナー部 会員	・ 来年度のセミナーの活動方針について
2	R3.9.2	オンライン	若手部会と シニア部会	・ 10月と11月に開催するオンライン勉強会について

(3) 技術報告会部会 (調査・設計・施工技術報告会運営委員会) 委員長：神谷 浩二

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.4.14	Zoomによる オンライン会 議	24名	第1回運営委員会 1. 委員名簿について 2. 第30回調査・設計・施工技術報告会について 開催方法, プログラムほか 3. 支部賞(技術賞)の審査について 審査方法ほか
2	R3.9.15	Zoomによる オンライン会 議	22名	第2回運営委員会 1. 委員名簿について 2. 前回の議事録について 3. 第30回調査・設計・施工技術報告会について 収支見込, 参加者アンケートほか 4. 支部賞(技術賞)の推薦候補について 推薦候補の決定ほか 5. 第31回調査・設計・施工技術報告会について 企画, 予算計画ほか

(4) シンポジウム部会 (中部地盤工学シンポジウム運営委員会) 委員長：藤井 幸泰

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.7.8	オンライン (Zoom ミー ティング)	9名	第1回運営委員会 ・ 第33回地盤工学シンポジウム運営に関して 論文集 PDF の限定公開 Zoom 使い方マニュアルなどの作成&公開 Zoom 接続テストについて (8/6 開催) 当日の運営について確認 アルバイト学生へのお願い事項 優秀発表賞の採点について確認
2	R3.8.10	オンライン (Zoom ミー ティング)	13名	第2回運営委員会 ・ 第33回地盤工学シンポジウムに関して ① プログラムについて 一般発表 13件 特別講演 1件 ② 設営・運営などについて Zoom ミーティング マニュアル作成, ホストの役割 前日と前々日の接続テスト 事務局からの Zoom 情報の通知 ③ 研究奨励賞・発表賞について 研究奨励賞 1件 優秀発表者賞 3件 (順位なし, 後日発表) 代理発表の場合も確認した ③ 原稿 pdf ファイルについて 事前申込者, 発表者, 委員に隠し URL を連絡 (半年後に一般公開)

3	R3.8.12	オンライン (メール)	13名	第2回運営委員会の関連 ・優秀発表賞、研究奨励賞に関する採点と集計 優秀発表賞 1-1 中村 宏樹 (名城大学) 1-7 西沢 建吾 (名古屋大学) 2-3 鈴木 志信 (名城大学)
4	R3.10.15	オンライン (Zoom ミーティング)	11名	第3回運営委員会 第34回中部地盤工学シンポジウムの計画 次年度予算について
6	R4.1.12	オンライン (Zoom ミーティング)	10名	第4回運営委員会 研究奨励賞候補 中村宏樹氏 (名城大学) 第34回中部地盤工学シンポジウムの計画 ① 開催日: 令和4年8月8日 (月) ② 開催場所: 名古屋大学 ES 館 ③ 特別講演候補 (1件) ・今泉 文寿 教授 (静岡大学農学部 生物資源 科学科, 専門: 砂防工学)
7	R3.3.15			第33回の論文の Web 一般公開
8	R3.3.15			会告の作成、HP へのアップロード

(5) 見学会部会

委員長: 永尾拓洋

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.4.9	—	— (9名)	メール連絡 ・令和3年度市民見学会開催判断 (見送り)
2	R3.6.23	中部支部 ポラビル	5名	第1回運営委員会 ・今年度の体制 ・令和3年度の活動方針とスケジュール
3	R3.10.7	中部支部 ポラビル + Zoom	6名	第2回運営委員会 ・令和4年度の市民見学会の開催に向けた検討 ・オンライン見学会の検討 ・令和4年度予算 (案) 策定
4	R3.11.24	中部支部 ポラビル	8名	第3回運営委員会 ・令和4年度の市民見学会の開催に向けた検討 ・オンライン見学会の検討
5	R3.12.22	中部支部 ポラビル + 半田高架	9名	第4回運営委員会 ・Zoom によるオンライン見学会の試行
6	R4.1.26	中部支部 ポラビル	7名	第5回運営委員会 ・令和4年度の市民見学会候補日、見学先絞込 ・オンライン見学会の課題検証 ・令和4年度事業計画 (案) 策定
7	R4.3.23	中部支部 ポラビル	4名	第6回運営委員会 ・令和4年度の市民見学会の決定

(6) 信州地盤部会 (信州地盤環境委員会)

委員長: 古本 吉倫

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.11.26	メール審議	16名	運営委員会 ・第一回講演会および見学会の企画

(7) 若手技術者部会 (若手技術者の会)

委員長: 松田達也

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.05.27	Google	12名	・部会員の自己紹介

		Meetによるオンライン会議		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度の部会計画等について ・ セミナー部会との連携について ・ 若手技術者・研究者交流会（(仮称)土質力学学び直し会）について ・ シニア部会との連携について 学生交流会について
2	R3.07.20	Zoomによるオンライン会議	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土質力学学び直し会 イブニングセミナー担当回の内容について
3	R3.10.06	Zoomによるオンライン会議	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土質力学学び直し会 ・ 令和4年度事業計画・予算案について ・ イブニングセミナー時の役割について
4	R3.12.02	Zoomによるオンライン会議	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土質力学学び直し会 ・ セミナー部会・シニア部会・若手部会連携 第1回・第2回「地盤工学セミナー」報告 ・ 「地盤工学セミナー」での質問内容に関するQ&A化とHPでの公開
5	R4.02.08	Zoomによるオンライン会議	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土質力学学び直し会 ・ Q&Aのとりまとめについて ・ 部会員メンバーの変更について ・ 今後の土質力学学び直し会について

(8) シニア部会 (シニア活性化委員会)

委員長：利藤 房男

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.8.11	中部支部 ポータルビル + Zoom	7名	<p>第1回委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地盤工学サロンはコロナの状況から中止し、計画は来年度に活かすこととした。 2. 地盤工学 Q&A の進め方を検討した。若手技術者部会の A を参考にしてシニア部会にて Q&A の見本的なものを年度内に作成することとした。来年度からは体系的な取り組みが必要なので、Q&A 作成のフロー、体制を検討する。 3. シニア部会新委員候補を検討することとした。 4. 地盤工学セミナーにシニア部会が講師を派遣することとし、第1回(地盤調査)の講師は坪田委員と利藤委員長とした。
2	R3.9.22	Zoomによるオンライン開催	7名	<p>第2回委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 来年度の第7回地盤工学サロンの催行内容を検討した。収入として参加費、預り金、協賛金を見込むこととした。 2. シニア部会の新委員候補を検討した。 3. 地盤工学セミナーについて、10月25日開催第1回の内容について確認した。第2回について、11月26日開催、講師(話題)は前本氏(基礎設計)、坪井委員(地盤改良)と決定した。
3	R4.1.14	中部支部 ポータルビル + Zoom + メール 審議	8名 (他にオブザーバー2名)	<p>第3回委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員長交代(利藤→向井)、委員退会(渋谷、中道、藤田)、入会(前本、米田、大橋、西岡)について審議した。 2. 地盤工学セミナーの実施とアンケート報告。 3. R4年度事業計画・予算案を審議した。 4. 技術の伝承について議論した。

参考	R3.7.19 R3.9.2 R3.11.8 R4.2.28	—	—	地盤工学 Q&A、地盤工学セミナーについて 若手技術者部会、セミナー部会との連携会議
----	---	---	---	---

(9) 災害緊急調査団

団長：沢田 和秀

	年月日	会場	参加人数	内容
1				令和3年熱海市土砂災害調査連絡会の活動 土木学会中部支部を幹事学会として、各学会・行政機関と締結している「災害時における調査及び技術支援等の相互協力に関する協定」に基づき、各団体と連携しながらさらに地域に貢献するために、「令和3年熱海市土砂災害調査連絡会」を結成した。会長・副会長を始めとする事務局に地盤工学会中部支部のメンバーが担当した。また、協定先の静岡県からの依頼により、県委員会に委員を派遣した。さらに、調査に関して会員から意聴収なども行った。

7. 行事

(1) 講演会

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.4.16	Zoomによるオンライン開催	126	支部長講演 「あのころの未来に ぼくらは立っているのかなあ 地盤工学 Part I」 名古屋工業大学大学院 教授 前田 健一

(2) 地盤工学に関するセミナー（セミナー部会 委員長：久保 裕一）

【地盤調査ボーリング作業～室内土質試験見学会】

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.7.9 (4月を延期) コロナウィルスの影響により延期	中部土質試験協同組合（ジオ・ラボ中部）	30名に限定	(予定であった行事) 1. ボーリング作業・室内土質試験見学会 ＜ボーリング作業、物理探査の見学＞ ＜ボーリングマシン・部品展示＞ 土質試験室見学(感染症予防から希望者のみ)

【地盤材料試験実習セミナー】

	年月日	会場	参加人員	内容
1	ボーリング見学会延期により中止	中部土質試験協同組合（ジオ・ラボ中部）	各コース3名程度	(予定であった行事) 講習は、2日間に渡り5コースに別れて地盤材料試験を実習する予定であった。 ① 一軸・圧密試験コース ② 三軸圧縮試験コース 動的試験コースなど

【講習会・セミナー】

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.7.29 実施済	Zoomによるオンラインセミナー 15:00～17:00	申込み62名 参加者50名	初級オンラインセミナー(令和3年度:第1回) 1. 題目「支持力」 2. 講師:水野和憲氏(岐阜工業高等専門学校) 3. 講演概要:土の支持力について初学者から中級者を対象にわかりやすく解説する。

				アンケートからは、「難しいイメージがあったが、基礎形式や支持力の基礎的知識が改めて再確認できて良かった。テキストも理解しやすかった」との意見が多かった。
2	R3.9.21 実施済	Zoomによる オンラインセミナー 15:00～ 17:00	申込み 71名 参加者 68名	初級オンラインセミナー(令和3年度:第1回) 1. 題目「土圧」 2. 講師:小林 睦氏(豊田工業高等専門学校) 3. 講演概要:土の土圧について初学者から中級者を対象にわかりやすく解説する。 1. アンケートから、「テキストもわかりやすく良く理解出来た。また、地方にいと参加型のリアル講習会の参加は難しいが、オンラインだと非常に助かります」との意見もあった。
3	R3.10.25	Zoomによる オンラインセミナー 15:00～ 17:00	参加者 申込み 104名 参加者 97名	1. 若手技術者部会、シニア部会と連携したセミナー 2. 第1部 地盤調査の過去から現在について 講師:坪田 邦治 氏 3. 第2部 乱れの少ない試料(自然地盤)と乱された試料(盛土)の物性評価の留意点 講師:利藤 房男 氏 4. アンケートの結果から「地盤調査法の歴史から調査結果を見る際の注意点まで、若手技術者にとって非常に有益な講義内容であったと感じました。大変勉強になりました」など、好評であった。
4	R3.11.26	Zoomによる オンラインセミナー 15:00～ 17:00	参加者 申込み 90名 参加者 74名	1. 若手技術者部会、シニア部会と連携したセミナー 2. 第1部 「過去のトラブル事例などに学ぶ杭基礎の設計について」講師:前本 尚二氏 3. 第2部 「地盤改良 工法の歴史と固結工法について」講師:坪井英夫 氏 1. アンケートの結果から「地盤改良技術に関する近年の動向やトラブル事例の紹介があり、非常にためになりました」など非常に好評であった。

(3) 調査・設計・施工技術報告会(技術報告会部会 委員長:神谷 浩二)

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.6.25	Zoomによる オンライン開催	141名	第30回調査・設計・施工技術報告会 [一般発表:9件] ①薬液注入改良体の電気比抵抗を用いた出来高確認 -沿岸部埋立地における現地実証実験-(大野康年, 荻谷敬三, 村田芳信, 八嶋 厚, 下坂賢二, 花田有紀, 山本圭吾, 伊藤孝芳) ②振動を用いたグラウンドアンカー残存緊張力の現場計測 -トンネル内重交通および過緊張条件下における挑戦-(八嶋 厚, 名波一輝, 小島杏介, 斎藤秀樹, 小笠原敬徳, 山崎 充) ③電動化した小型動的コーン貫入試験装置の開発

				<p>(尾崎 真, 野村 隆, 西脇 繁, 村田芳信, 八嶋厚)</p> <p>④比抵抗変化率に着目した探査技術の堤防管理への活用検討例(山口明代, 新清 晃, 山下善弘, 高瀬尚人)</p> <p>⑤現場発泡ウレタンを用いた不安定転石群に対する新しい発生源対策工法(沢田和秀, 加藤十良, 遠藤大輔)</p> <p>⑥砂防堰堤上流部の崩壊斜面の変状の進行に関する調査(沢田和秀, 小原 到)</p> <p>⑦落石発生源の机上抽出と UAV レーザデータの密度に関する考察(梅村日菜, 沢田和秀, 小野貴稔, 千田良道, 長崎秀之)</p> <p>⑧軽量盛土材を使用した切盛複合補強土壁工法の活用事例(馬場元樹, 大野 毅, 足助優二, 齋藤稔人, 原田英男, 長沼明彦, 武藤裕久, 西尾信行)</p> <p>⑨自然冷媒を用いた地盤凍結工法の適用事例(笠原慎司)</p> <p>[特別講演:1件] 講師:吉野 純(岐阜大学・准教授) 題目:地球温暖化時代の気象災害と対策 - 豪雨や台風の将来変化 -</p>
--	--	--	--	--

(4) 中部地盤工学シンポジウム (シンポジウム部会 委員長:藤井 幸泰)

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.8.10	Zoom ミーティング	105名	<p>第33回中部地盤工学シンポジウム</p> <p>(1) 一般発表13件</p> <p>1-1 堤防模型実験による基盤排水工の変状抑制効果の検証:中村 宏樹(名城大学)</p> <p>1-2 矢板の設置による河川堤防のパイピング破壊の進展抑制効果:伊神 友裕(名古屋工業大学)</p> <p>1-3 締固め時に形成する骨格構造が細粒分を含む堤体の力学特性に及ぼす影響:藤田 薫(名城大学)</p> <p>1-4 浸透条件下でのせん断変形に伴う砂質土の細粒分流出現象:湯貫 敬(名城大学)</p> <p>1-5 洪水時に生じる水面勾配を考慮した洗掘対策工の安定性評価について:丹羽 俊介(名古屋工業大学)</p> <p>1-6 管渠周辺地盤の粒度分布と空洞形状に着目した陥没災害の予防保全に向けた危険度評価フローの提案:林 英璃奈(名古屋工業大学)</p> <p>1-7 空気~水~土連成有限変形解析による河川堤防の力学挙動に及ぼす地震と降雨の複合外力の影響評価:西沢 建吾(名古屋大学)</p> <p>2-1 鶴沼古市場遺跡における河原石の定向配列と古木曾川の流水方向について:山田 富久(濃尾・各務原地名文化研究会)</p> <p>2-2 海底地すべりによって励起される津波特性の基礎的研究:弘津 航太朗(名古屋工業大学)</p> <p>2-3 大井川水系榛原川流域における土砂供給過程の詳細把握:鈴木 志信(名城大学)</p> <p>2-4 セメント添加・カルシウム溶脱による鋭敏粘性土供試体作製の試み:古市 実希(名古屋大学)</p>

				<p>2-5 ジオテキスタイルで補強された盛土の盛土全体系を考慮した耐震メカニズムの数値解析的検討：酒井 崇之（名古屋大学）</p> <p>2-6 異なる斜面条件における岩塊群の堆積距離に及ぼす岩塊サイズの影響：大村 拓夢（豊橋技術科学大学）</p> <p>[特別講演：1件]</p> <p>講師：溝口 勝（東京大学大学院 教授）</p> <p>題目：福島県飯舘村における除染後農地の問題と土壌再生</p>
--	--	--	--	---

(5) 市民見学会（見学会部会 委員長：永尾拓洋）

1				コロナウィルスの影響により令和3年度は中止
---	--	--	--	-----------------------

(6) 信州地盤環境委員会（信州地盤部会 委員長：古本 吉倫）

	年月日	会場	参加人数	内容
1	中止	中止	中止	秋の見学会
2	R4.2.9	Zoom (長野高専地域共同テクノセンター)	23名	第1回講演会：技術士スキルアップセミナー 「六工社再建計画の試みをふり返って」 (株式会社国土設計 専務取締役 林正昭氏) ※長野高専技術振興会と共催

(7) 学生交流会・技術者交流会・見学会（若手技術者部会 委員長：松田 達也）

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R3.10.25 R3.11.26	—	—	オンラインセミナーを2回開催 セミナー部会、シニア部会と連携 詳細は(2)の【講習会・セミナー】3,4に記載

(8) シニア活性化委員会（シニア部会 委員長：利藤 房男）

	年月日	会場	参加人数	内容
1	—	—	—	1. 第7回地盤工学サロン コロナウィルスの影響により令和3年度は中止
2	R3.10.25 R3.11.26	—	—	オンラインセミナーを2回開催 セミナー部会、若手技術者部会と連携 詳細は(2)の【講習会・セミナー】3,4に記載

(9) 連 携：土木学会中部支部出前講座

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.10.19	蟹江町立舟入小学校	15名	「液状化しそうな地盤とは？作って調べてみよう」 講師：中井健太郎先生
2	R3.11.24	一宮市立瀬部小学校	84名	「液状化しそうな地盤とは？作って調べてみよう」 講師：中野正樹先生

(10) 後 援

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R3.10.7	ウインクあいち、オンライン開催		地盤品質判定士会中部支部設立特別講演会 主催：(一社)地盤品質判定士会中部支部
2	R3.10.22	名古屋国際会議場		中部ミニフォーラム 2021 主催：(一社)中部地質調査業協会
3	R3.12.14～	吹上ホール		建設技術フェア 2021in 中部

	15		主催：名古屋国際見本市委員会
4	R4.2.25	Zoom およ びYouTube ライブスト リーミング 配信	防災科学技術に関するオンライン講演会 名城大学第 436 回理工談話会 主催：名城大学自然災害リスク軽減研究センター (後援予定)

以上

第2号議案

令和3年度決算報告および監査報告、令和4年度予算

正味財産増減決算書・予算書(経常費用・収益 部会別表示)

令和3年度決算:令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
令和4年度予算:令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

△は予算額に対し (単位:円)

科 目	事業区分	令和4年度予算額	令和3年度予算額(A)	R4.3.31予算執行状況(B)	増減(A)-(B)	備考
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益		2,838,000	1,770,000	912,500	857,500	
調査研究基準事業収益	公2	1,978,000	910,000	430,500	479,500	
1) 見学会収益		45,000	45,000	0	45,000	
2) 中部地盤工学シンポジウム収益		235,000	135,000	127,500	7,500	
① シンポジウム参加収益		235,000	135,000	127,500	7,500	
3) 調査・設計・施工技術報告会収益		660,000	660,000	292,000	368,000	
① 報告会参加収益		460,000	460,000	292,000	168,000	2団体からの協賛金含
② 懇親会参加収益		200,000	200,000	0	200,000	
4) 若手技術者の会収益		30,000	20,000	0	20,000	
① 交流会参加収益		30,000	20,000	0	20,000	
② 懇親会参加収入		0	0	0	0	
5) シニア活性化委員会収益		918,000	0	0	0	1団体からの協賛金含
6) 信州地盤環境委員会収益		80,000	40,000	0	40,000	
7) 各種研究委員会収益		0	0	0	0	
8) 最新名古屋地盤図(追補版)販売収益		10,000	10,000	11,000	△1,000	
技術推進事業収益	公3	860,000	860,000	482,000	378,000	
1) 地盤工学に関するセミナー収益		860,000	860,000	482,000	378,000	
雑収益		1,000	1,000	10	990	
1) 受取利息	共通	1,000	1,000	10	990	
2) 雑収益		0	0	0	0	総会懇親会費等
本部交付金	共通		4,470,000	4,400,000	70,000	
経常収益計		2,839,000	6,241,000	5,312,510	928,490	
(2) 経常費用						
事業費:公1~4に関する支出		2,680,000	1,517,000	234,775	1,282,225	
(1) 調査研究・基準事業費	公2	2,460,000	1,297,000	111,975	1,185,025	
1) 講演会費		10,000	10,000	0	10,000	
2) 見学会費		260,000	260,000	0	260,000	
3) 中部地盤工学シンポジウム開催費		181,000	50,000	41,893	8,107	
① シンポジウム開催費		181,000	50,000	41,893	8,107	
4) 調査・設計・施工技術報告会費		410,000	410,000	18,652	391,348	
① 報告会開催費		230,000	230,000	18,652	211,348	
② 懇親会開催費		180,000	180,000	0	180,000	
5) 若手技術者の会開催費		51,000	82,000	0	82,000	
① 交流会開催費		51,000	82,000	0	82,000	
② 懇親会開催費		0	0	0	0	
6) シニア活性化委員会		968,000	65,000	0	65,000	
7) 信州地盤環境委員会		80,000	120,000	10,000	110,000	注1)
8) 自然災害の調査、研究事業費		300,000	300,000	41,430	258,570	
9) 各種研究委員会費		200,000	0	0	0	広報準備WG
(2) 技術推進事業費	公3	190,000	190,000	112,800	77,200	
1) 地盤工学に関するセミナー開催費		170,000	170,000	102,463	67,537	
2) 土木学会連携出前講習費		20,000	20,000	10,337	9,663	
(3) 表彰関連事業費	公4	30,000	30,000	10,000	20,000	
事業費:支部運営に関する費用		4,629,000	4,584,000	4,064,410	519,590	
(1) 臨時雇賃金		0	0	0	0	
(2) 会議費		375,000	375,000	0	375,000	
1) 支部総会費		300,000	300,000	0	300,000	
2) 懇親会費(総会后)		0	0	0	0	
3) 商議員会費		30,000	30,000	0	30,000	
4) 幹事会費		45,000	45,000	0	45,000	
5) 企画委員会費		0	0	0	0	
(3) 旅費交通費		30,000	30,000	11,800	18,200	
(4) 通信運搬費		120,000	120,000	104,574	15,426	
(5) 消耗品費		125,000	200,000	56,577	143,423	
(6) 印刷製本費		120,000	120,000	64,720	55,280	
(7) 賃借料		0	0	0	0	
(8) 会場使用料		0	0	0	0	
(9) 保険料		0	0	0	0	
(10) 諸謝金		0	0	0	0	
(11) 委託費		3,800,000	3,680,000	3,736,049	△56,049	土木委託費、清掃費、日保守費、パワコンリース費
(12) 支払手数料		9,000	9,000	7,640	1,360	
(13) 雑費		50,000	50,000	83,050	△33,050	
経常費用計		7,309,000	6,101,000	4,299,185	1,801,815	
評価損益等調整前当期経常増減額		△4,470,000	140,000	1,013,325	△873,325	
評価損益等計		0	0	0	0	
当期経常増減額		△4,470,000	140,000	1,013,325	△873,325	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計		0	0	0	0	
(2) 経常外費用						
経常外費用計		0	0	0	0	
当期経常外増減額		0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額		△4,470,000	140,000	1,013,325	△873,325	
一般正味財産期首残高		19,795,671	18,782,346	18,782,346	0	
一般正味財産期末残高		15,325,671	18,922,346	19,795,671	△873,325	
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	
III 正味財産期末残高		15,325,671	18,922,346	19,795,671	△873,325	

注1) 信州地盤環境委員会費用では、長野県地質ボーリング協会(一社)斜面防災対策技術協会からの補助金を観光バスのチャーター費の一部として充当する。

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

公益社団法人地盤工学会
公益目的事業会計

中部
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	689,667	985,666	△ 295,999
前払金	36,500	0	36,500
預け金	19,069,504	17,796,680	1,272,824
流動資産合計	19,795,671	18,782,346	1,013,325
資産合計	19,795,671	18,782,346	1,013,325
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	19,795,671	18,782,346	1,013,325
正味財産合計	19,795,671	18,782,346	1,013,325
負債及び正味財産合計	19,795,671	18,782,346	1,013,325

財産目録

令和 4年 3月31日現在

公益社団法人地盤工学会
公益目的事業会計

中部
(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)				
現金 預金	手元保管 普通預金 三井住友銀行 名古屋支店	運転資金として	14,540	
		運転資金として	675,127	
			675,127	
	前払金 その他 預け金 本部	アイラック愛知	R4支部総会会場費	36,500
				36,500
				19,069,504
	本部	支部運転資金	19,069,504	
流動資産合計			19,795,671	
資産合計			19,795,671	
正味財産			19,795,671	

令和3年度 正味財産増減計算書（経常収益・費用費目別）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益社団法人地盤工学会
公益目的事業会計

中部
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	912,500	718,300	194,200
調査研究・基準事業収益	430,500	195,300	235,200
中部地盤工学シンポジウム収益	127,500	70,000	57,500
調査・設計・施工技術報告会収益	292,000	100,000	192,000
各種研究委員会収益	0	25,300	△ 25,300
名古屋地盤図収益	11,000	0	11,000
技術推進事業収益	482,000	523,000	△ 41,000
地盤工学セミナー収益	482,000	523,000	△ 41,000
雑収益	10	8	2
受取利息	10	8	2
その他	10	8	2
本部交付金	4,400,000	4,550,000	△ 150,000
経常収益計	5,312,510	5,268,308	44,202
(2) 経常費用			
事業費	4,299,185	4,301,284	△ 2,099
臨時雇賃金	5,000	0	5,000
会議費	0	101,522	△ 101,522
旅費交通費	47,960	26,000	21,960
通信運搬費	201,555	127,450	74,105
消耗品費	56,604	204,967	△ 148,363
印刷製本費	64,720	48,664	16,056
保険料	5,270	17,918	△ 12,648
諸謝金	91,337	72,996	18,341
委託費	3,736,049	3,605,905	130,144
支払手数料	7,640	7,920	△ 280
雑費	83,050	87,942	△ 4,892
経常費用計	4,299,185	4,301,284	△ 2,099
評価損益等調整前当期経常増減額	1,013,325	967,024	46,301
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,013,325	967,024	46,301
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,013,325	967,024	46,301
一般正味財産期首残高	18,782,346	17,815,322	967,024
一般正味財産期末残高	19,795,671	18,782,346	1,013,325
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,795,671	18,782,346	1,013,325

令和4年度 正味財産増減予算書（経常収益・費用 費目別）

令和4年度 正味財産増減予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

中部支部

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	0	1,978,000	860,000	0	0	2,838,000	0	2,838,000
調査研究・基準事業収益	0	1,978,000	0	0	0	1,978,000	0	1,978,000
技術推進事業収益	0	0	860,000	0	0	860,000	0	860,000
雑収益計	0	600	400	0	0	1,000	0	1,000
受取利息	0	600	400	0	0	1,000	0	1,000
経常収益計	0	1,978,600	860,400	0	0	2,839,000	0	2,839,000
(2) 経常費用								
事業費	0	5,237,400	2,041,600	30,000	0	7,309,000	0	7,309,000
臨時雇賃金	0	25,000	0	0	0	25,000	0	25,000
会議費	0	245,000	150,000	0	0	395,000	0	395,000
旅費交通費	0	158,000	12,000	0	0	170,000	0	170,000
通信運搬費	0	124,000	68,000	10,000	0	202,000	0	202,000
消耗什器備品費	0	78,000	50,000	20,000	0	148,000	0	148,000
印刷製本費	0	100,000	78,000	0	0	178,000	0	178,000
賃借料	0	125,000	0	0	0	125,000	0	125,000
会場使用料	0	353,000	0	0	0	353,000	0	353,000
保険料	0	57,000	0	0	0	57,000	0	57,000
諸謝金	0	202,000	110,000	0	0	312,000	0	312,000
委託費	0	3,353,000	1,520,000	0	0	4,873,000	0	4,873,000
支払手数料	0	6,400	3,600	0	0	10,000	0	10,000
雑費	0	411,000	50,000	0	0	461,000	0	461,000
経常費用計	0	5,237,400	2,041,600	30,000	0	7,309,000	0	7,309,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000
当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	▲ 3,258,800	▲ 1,181,200	▲ 30,000	0	▲ 4,470,000	0	▲ 4,470,000

令和3年度 監査結果報告

令和3年度公益社団法人地盤工学会中部支部監査を行った結果について、ご報告いたします。

支部の会計につきましては、関係帳簿を監査いたしましたところ、適正に執行されていたことを認めます。

又、支部役員の業務執行状況等につきましても監査いたしましたところ、適正にその業務をなされています。

令和4年4月13日

公益社団法人 地盤工学会中部支部

支部監事 松谷正樹

支部監事 久保裕一

第3号議案

令和4年度 支部役員名簿

2022年4月21日 現在

【支部長】

沢田 和秀 岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 教授

【副支部長】

向井 克之 基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 技術顧問

神谷 浩二 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授

【商議員】

林 正道 国土交通省中部地方整備局 企画部 部長

山本 大志 国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 部長

中澤 敏雄 中部森林管理局 治山課 課長

花田 弘幸 独立行政法人水資源機構中部支社 副支社長

後藤 広司 独立行政法人都市再生機構中部支社 住宅経営部 次長

道浦 真 愛知県 建設局 局長

富田 隆広 愛知県 農林基盤局 農地部 農地整備課 課長

大野 真義 岐阜県 県土整備部 部長

板垣 慎二 岐阜県 農政部農地整備課 課長

佐竹 元宏 三重県 県土整備部 理事

湯浅 豊司 三重県 農林水産部農業基盤整備課 課長

太田 博文 静岡県 交通基盤部 部長

岩崎 康正 静岡県 経済産業部農地局 農地計画課課長

田中 衛 長野県 建設部 部長

飯島 好文 長野県 農政部農地整備課 課長

亀嶋 隆光 名古屋港管理組合 建設部技術管理課 担当部長

水野 博樹 名古屋市緑政土木局 道路建設部 部長

鈴木 裕行 名古屋市住宅都市局 建築指導部 部長

渥美 靖秀 名古屋市住宅都市局 営繕部 部長

寛 正人 名古屋市上下水道局 技術本部建設部 部長

福井 伸彦 名古屋市交通局 技術本部施設部 部長

松本 豊和 中日本高速道路(株)名古屋支社 環境・技術管理部 部長

沖森 克文 名古屋高速道路公社 メンテナンス事業部 部長

松井 伴和 中部電力(株) 技術開発本部 技術企画室 土建エンジニアリンググループ グループ長

木村 哲也 関西電力(株) 電力流通事業本部 再生可能エネルギー事業本部 保全グループ マネジャー

石川 達也 東海旅客鉄道(株) 東海鉄道事業本部工務部工事課 課長

圓戸 誠一郎 東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長

山縣 正明 名古屋鉄道(株) 鉄道事業本部土木部 部長

鈴木 太 一般社団法人中部地質調査業協会 理事長

櫻井 陽平 ㈱竹中工務店 名古屋支店 技術部 計画1G
 小倉 一朗 鹿島建設㈱ 中部支店 土木部生産計画グループ グループ長
 竹内 国雄 ㈱三祐コンサルタンツ 技術第1部 課長
 今井 良則 応用地質株式会社中部事務所 所長
 富岡 伸芳 ㈱ダイヤコンサルタンツ中部支社 支社長
 梅崎 健夫 信州大学 工学部水環境・土木工学科 教授
 大東 憲二 大同大学 情報学部 総合情報学科 教授
 吉村 優治 岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
 田中 耕太郎 大成建設㈱名古屋支店 営業部 統括営業部長
 能島 暢呂 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
 山田 誠 ㈱大本組名古屋支店 土木部 部長
 渡辺 修治 中日本高速道路㈱名古屋支社 環境・技術管理部 副部長
 中西 晃 基礎地盤コンサルタンツ㈱中部支社 支社長
 東野 隆之 国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾高度利用調整官
 中井 健太郎 名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 准教授

【支部監事】

久保 裕一 中部土質試験協同組合 技術部 部長
 小林 睦 独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局 教授

【幹事長】

水野 和憲 岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授

【副幹事長】

小島 悠揮 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 准教授

【幹事】

西原 均 国土交通省中部地方整備局 中部技術事務所 総括技術情報管理官
 吉村 藤謙 国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 調査課長
 森合 正人 独立行政法人水資源機構中部支社 事業部 次長
 川口 暁子 独立行政法人都市再生機構中部支社 住宅経営部ストック技術課 主幹
 柚谷 正樹 愛知県 建設局河川課 課長
 萩原 康司 愛知県 農林基盤局 農地部 農地整備課 課長補佐
 後藤 誠 名古屋市緑政土木局 道路建設部道路建設課橋梁整備係 係長
 外狩 賢一 名古屋市上下水道局 技術本部建設部工務課設計第一係 係長
 木村 幸貴 名古屋市交通局 施設部施設計画課工事係 工事係長
 柴田 昌弘 名古屋高速道路公社 技術管理室 主任専門員兼主査
 橋本 昌朗 中日本高速道路㈱名古屋支社 環境・技術管理部 環境・技術課 担当課長
 成田 伸夫 中部電力㈱ 技術開発本部技術企画室土建エンジニアリンググループ 副長
 井奈波 周一 東海旅客鉄道㈱ 東海鉄道事業本部施設部土木課 課長代理
 永尾 拓洋 東海旅客鉄道㈱ 建設工事部 担当部長

西田 尚史	名古屋鉄道(株) 鉄道事業本部土木部建設課 課長
藤井 淳之	鹿島建設(株)中部支店 土木部プロジェクト推進第2グループ 課長
天野 喜勝	大成建設(株)名古屋支店 土木部技術室 室長
佐藤 学	清水建設(株)名古屋支店 土木技術部 グループ長
中島 将貴	(株)大林組名古屋支店 土木工事第一部 部長
武藤 裕久	矢作建設工業(株) 地震工学技術研究所 主任研究員
太田 尚	応用地質(株)中部事務所 地震防災事業部 防災・減災技術部 副部長
河原 弘明	中央開発(株)中部支店 支店長
前本 尚二	中日本建設コンサルタント(株) 環境技術本部 技師長
三輪 賢太郎	五洋建設(株)名古屋支店 土木営業部 専門部長
深谷 雄二	玉野総合コンサルタント(株) 地球環境部 次長
谷口 一平	東邦地水(株) 技術本部 本部長
法安 章二	中部土質試験協同組合 専務理事
杉野 康博	(株)ダイヤコンサルタント中部支社 安全設計部 次長
五十嵐 央	基礎地盤コンサルタント(株)中部支社 地盤技術部 部長
河村 隆	信州大学 工学部水環境・土木工学科 准教授
岡島 賢治	三重大学大学院 生物資源学研究科 准教授
三浦 均也	豊橋技術科学大学 工学研究科 建築・都市システム学専攻 教授
棚橋 秀行	大同大学 工学部建築学科土木・環境専攻 教授
北 勝利	東海大学 海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻 教授
中村 吉男	愛知工業大学 工学部土木工学科 教授
古本 吉倫	長野工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
佐藤 祥昭	川崎地質(株)中部支社 技術部技術2グループ グループ長
田代 むつみ	名古屋大学 未来社会創造機構 特任講師
坂倉 満	名古屋市上下水道局 技術本部建設部 主幹
余川 弘至	中部大学 工学部都市建設工学科 助教
宇野 健司	国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長
吉川 高広	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 助教
藤井 幸泰	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 准教授

令和4年度事業計画

1. 会議

- ① 通常総会 1回（4月22日）
- ② 商議委員会 3回（4月22日、10月21日、令和5年1月20日）
- ③ 幹事会 4回（4月22日、7月29日、10月21日、令和5年1月20日）

2. 委員会・部会および委員長

委員会・部会および委員長

委員会・部会	委員長
① 企画委員会	中野 正樹（名古屋大学）
② セミナー部会（地盤工学に関するセミナー運営委員会）	◎ 棚橋 秀行（大同大学）
③ 技術報告会部会（調査・設計・施工技術報告会運営委員会）	神谷 浩二（岐阜大学）
④ シンポジウム部会（中部地盤工学シンポジウム運営委員会）	藤井 幸泰（名城大学）
⑤ 見学会部会（見学会運営委員会）	◎ 橋本 昌朗（中日本高速道路㈱）
⑥ 信州地盤部会（信州地盤環境委員会）	古本 吉倫（長野工業高等専門学校）
⑦ 若手技術者部会（若手技術者の会）	松田 達也（豊橋技術科学大学）
⑧ シニア部会（シニア活性化委員会）	◎ 向井 克之（基礎地盤コンサルタンツ）

- ・ 幹事は上記部会のいずれかを担当する。（複数部会への参加も可能）
- ・ ◎印は新委員長

3. 行事

（1）講演会

期日：令和4年4月22日（金）

支部長講演 15:00～15:40

演題 「起きていることを伝えられるか？」

講演者 岐阜大学 インフラマネジメント技術研究センター 教授 沢田 和秀
（令和4年度地盤工学会中部支部支部長）

受賞講演 15:50～16:35

演題 「堤防模型実験による基盤排水工の変状抑制効果の検証」

講演者 名城大学大学院 中村 宏樹 氏
（令和3年度中部支部賞-研究奨励賞受賞者）

演題 「軽量盛土を使用した切盛複合補強土壁工法による災害復旧」

講演者 国土交通省飯田国道事務所、矢作建設工業㈱、㈱テクノサポートより 代表者
（令和3年度中部支部賞-技術賞受賞者）

演題 「振動を用いたグラウンドアンカー残存緊張力の現場計測
—トンネル内重交通および過緊張条件下における挑戦—」

講演者 岐阜大学 八嶋 厚 氏
（令和3年度中部支部賞-技術賞受賞者）

（2）委員会・部会行事・活動計画案

① 企画委員会

委員長：中野正樹

- ・ 支部中長期活動方針の検討
- ・ 支部部会再編成の検討
- ・ 支部選出理事、支部選出代議員、支部事務局の中長期の候補案の作成

- ・名誉会員の候補者検討と推薦
- ・学会賞（定款第 5 条第 1 項第 3 号に掲げる表彰）の候補検討と推薦
- ・功労章、貢献賞、出版賞、事業企画賞等の候補検討と推薦

② セミナー部会（地盤工学に関するセミナー運営委員会） 委員長：棚橋秀行

1) 令和 4 年度の活動計画について

- ・コロナウィルス感染症が拡大している場合、オンライン開催の強みを活かして Zoom によるセミナーを開催する。
- ・可能であれば対面活動として、ボーリング見学会、土質試験体験実習、セミナー、講習会を積極的に実施する。
- ・若手部会やシニア部会と連携するなど、部会同士の連携も強化予定である。
- ・会員が視聴可能なオンライン教材の検討を行う。
- ・会員のための施策を充実させる努力をする。

2) 令和 4 年度のセミナー、講習会の予定

- ・4 月：ボーリング見学会（例年の半分程度の募集人数で開催）
- ・6 月：土質試験体験実習
- ・9 月から 11 月にかけて、セミナー、講習会を開催予定
- ・上記以外にも随時タイムリーなセミナー・講習会等を企画・実施予定

③ 技術報告会部会（調査・設計・施工技術報告会運営委員会） 委員長：神谷浩二

1) 第 31 回調査・設計・施工技術報告会の実施

開催日：令和 4 年 6 月 24 日(金)

開催方法：対面形式（会場：名古屋大学・ES 総合館 1 階 ES ホール）とオンライン形式の併用による開催（新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催方法をオンライン形式のみに変更する場合あり）

※一般発表（12 件程度）

※特別講演（1 件）：静岡県熱海市における土石流災害に関する話題
（国土交通省中部地方整備局）

2) 中部支部賞（技術賞）の推薦

3) 令和 5 年度第 32 回調査・設計・施工技術報告会の企画

④ シンポジウム部会（中部地盤工学シンポジウム運営委員会） 委員長：藤井幸泰

1) 第 34 回中部地盤工学シンポジウムの実施

開催日：令和 4 年 8 月 8 日(月)

会場：名古屋大学 ES 館

（新型コロナ禍の状況に応じてオンラインへの切り替えも検討、6 月末開催方法決定予定）

特別講演（1 件）

「土砂生産が土石流の発生に及ぼす影響についての話（仮題）」

今泉 文寿 氏（静岡大学農学部 生物資源科学科 教授，専門：砂防工学）

2) 優秀発表賞の選出と中部支部賞（研究奨励賞）の推薦

3) 令和 5 年度開催 第 35 回中部地盤工学シンポジウムの企画

⑤ 見学会部会（見学会運営委員会） 委員長：橋本昌朗

令和 4 年度市民見学会の企画

- ・社会情勢（新型コロナウイルス感染症に関する動向など）を踏まえつつ、令和 4 年度の開催に向けた準備を進める。
- ・基本はこれまで通りの実地（リアル）見学会だが、コロナの影響からリモート開催となる可能性も含めて検討する。
- ・昼食を挟まないプログラムとする。

- ・見学先と調整の上、夏休みの平日開催とする。
- ・適切な参加制限を設定する。
- ・学会の財政も考慮し、適切な参加費用を設定する。
- ・チラシ配布場所等に工夫を加えるなど、応募者の増加を図る。

⑥ 信州地盤部会（信州地盤環境委員会）

委員長：古本吉倫

1. 運営委員会：各行事の運営を行うために打ち合わせや準備を行う。
2. 講演会・および講習会：信州地域の研究者・技術者に発表や、情報交換の場を提供する。講演会を1回または2回企画し、若手技術者、研究者向けの発表会（ジオテクセミナー）を必要に応じて開催する。
3. 秋の見学会：信州地域における地盤環境および土木技術に関する名所を巡る。例年人気が高く、参加費収入と必要経費がほぼ一致する。なお、毎年、長野県地質ボーリング協会と(社)斜面防災対策技術協会から、観光バスのチャーター費の補助を受けている。

⑦ 若手技術者部会（若手技術者の会）

委員長：松田達也

1) 学び直しの会

- ・若手技術者部会の構成員で「土質力学」に関する基礎的な勉強会を開催する。
- ・産官学、様々な立場から話題提供を頂く。
- ・可能であれば、現場見学会の開催を検討する。

2) 若手技術者・研究者交流会

- ・学び直しの会をベースとして、会員・非会員を問わず参加できる勉強会を開催する。学生の参加も可と考えている。
- ・テーマ等は参加者アンケート等を踏まえて部会内で審議のうえ決定する。
- ・テーマに精通した外部講師を招いての開催も検討する。
- ・実施方法は対面およびオンライン（Web）のそれぞれのメリットを生かして、参加や議論しやすいスタイルを検討する。
- ・GCPDの付与等も検討し、企業の方が参加者しやすいように工夫する。

3) 支部ウェブサイトの整備・運営

- ・開催報告など、積極的に情報を発信できる体制を整える。
- ・シニア部会と連携し、中部支部ホームページのQ&Aの充実を図る。

⑧ シニア部会（シニア活性化委員会）

委員長：向井克之

1) シニア活性化委員会

- ・シニア活性化委員会は、以下の日程で開催を予定する。なお、事業の進捗等の都合で、追加開催することもある。会議は、地盤工学会中部支部会議室にて行う。

第1回（2022年6月頃）第2回（2022年9月頃）第3回（2023年1月頃）

2) 第7回地盤工学サロン

- ・2022年10月頃に1泊2日で計画する。ただし、コロナの状況によって催行の可否を判断するが、1泊2日を日帰りに変更する可能性もある。
- ・初日は令和2年度予定の福井県敦賀市（年縞博物館、NEXCO舞鶴若狭道向笠地区、水月湖）とし、2日目は福井県立恐竜博物館などを候補として検討する。なお、宿泊地は福井県あるいは石川県の温泉地を予定。

3) 地盤工学セミナー

- ・2021年度地盤工学セミナー（第1回：地盤調査、第2回：設計）に引き続き、年間2回程度開催する方向で、セミナー部会に協力する。

セミナーの内容は、セミナー部会や若手部会の意見を聞きつつ、技術の伝承の観点で計画する

4) 地盤工学Q&Aの作成

- ・2021年度に作成したQ&A作成の実施フロー、体制に基づき、本格稼働させる。
- ・若手部会と協働して進める。
- ・ホームページの更新などの作業が発生するため、学会の関係部署との協働を図る。

⑨ 災害緊急調査団

団長：沢田和秀

⑩ 表彰委員会

委員長：神谷浩二

⑪ 代議員会

とりまとめ：水野和憲

支部運営についての意見交換と提言

⑫ 広報部会準備 WG

とりまとめ：中井健太郎

広報部会設立準備

支部 HP のコンテンツ充実に向けた検討

公益社団法人 地盤工学会中部支部規程

(平成 22 年 11 月 1 日制定)
(2019 年 4 月 19 日一部改正)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき中部地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会中部支部（以下「支部」という。）といい、事務局を名古屋市中区栄 2-9-26 ポーラ名古屋ビル 8F に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す中部地区（静岡県・愛知県・三重県・岐阜県・長野県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、地域ごとの会員の情報伝達を促進し、支部運営の効果を向上させるために必要に応じて信州地盤環境委員会を置くことができる。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	2 名
商 議 員	50 名以内
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
副 幹 事 長	2 名以内
幹 事	50 名以内

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員を選任)

第 7 条 支部役員は、商議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならないが、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を商議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員任期)

第 8 条 支部役員任期は 1 年とする。ただし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 商議員は、支部に関する重要事項を審議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要のある場合、幹事長の職務を代行する。

7 顧問は、支部役員に諮問に応ずる。

(支部役員解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

第 3 章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第 12 条 支部は、定款第 7 条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、商議員会にて選考する。

第 4 章 会 議

(会議)

第 13 条 支部の会議は、支部総会、商議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第 14 条 支部総会は、規則第 47 条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後 1 ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議す

る。ただし、支部総会の議事は、予め商
議委員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員を選任または解任
 - (2) 支部役員の報酬等の額またはその規定
 - (3) 事業報告及び決算報告の承認
 - (4) 支部規程その他の規程の変更
 - (5) その他、商議委員会で認めた事項
- 5 支部総会は、支部に所属するすべての
会員の委任状を含む20分の1以上の出席
をもって成立する。
- 6 委任状は、当該議事につき、書面もし
しくはFAXもしくは電子メールをもって、
支部総会における他の構成員に委任をし、
または予め示された議案の賛否について
の意思表示をすることができる。この場
合はその者は出席者とみなす。
- 7 支部総会の議事は、出席者の過半数を
もって決定し、可否同数のときは議長の
決定による。ただし、支部規程の変更に
関しては、出席者の3分の2以上の同意
を必要とする。

(商議員会)

- 第15条 商議員会は、商議員をはじめとする支
部役員をもって構成し、議長は支部長が
これに当たる。
- 2 商議員会のうち、1回は毎事業年度開
始1ヶ月前までに支部長が招集する。た
だし、支部長が必要と認めた場合には、招
集しなければならない。
- 3 商議員会は、次の事項を審議する。
- (1) 事業報告及び決算
 - (2) 事業計画及び予算
 - (3) 規程等の制定及び変更
 - (4) 第7条に基づく支部役員
の推薦または選出
 - (5) その他、会務運営上の事項
- 4 商議員会は、商議員の委任状を含む過
半数の出席をもって成立する。
- 5 委任状は、当該議事につき、書面もし
しくはFAXもしくは電子メールをもって、
商議員会における他の構成員に委任をし、
または予め示された議案の賛否について
の意思表示をすることができる。この場
合はその者は出席者とみなす。
- 6 商議員会の議事は、出席者の過半数を
もって決定し、可否同数のときは議長の
決定による。

(幹事会)

- 第16条 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事
をもって構成し、議長は幹事長がこれに
当たる。
- 2 幹事会は、年6回程度開催し、幹事長
が招集する。
- 3 幹事会は、商議員会に付議する事業計
画、その他会務運営等に関する事項を策
定する。

(支部委員会)

- 第17条 支部長は、支部活動のために必要があ
るときは、支部委員会を設置することがで
きる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

- 第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度
は、毎年4月1日より始まり翌年3月
31日に終る。

(支部の経費)

- 第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、
交付金、寄付金及びその他の収入をもっ
てあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

- 第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事
業年度開始1ヶ月前までに商議員会が議
決し、支部長は直ちに会長に届出て、理
事会の承認を得なければならない。
- 2 支部長は、理事会が承認した事業計画
及び収支予算を定例支部総会に報告しな
なければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

- 第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事
業年度終了後、支部監事の監査を受けた
上で、商議員会の議決を経て定例支部総
会の承認を受けなければならない。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以
内に事業報告及び収支決算報告を会長に
届出て、理事会の決議を経て総会の承認
を得なければならない。

第6章 支部表彰

- 第22条 別に定める支部表彰規程に基づき表彰
を行うことができる。

第7章 支部規程の改廃

- 第23条 この規程を改廃しようとするときは、
商議員会の議決を経て、支部総会の承認
を得なければならない。
- 2 支部長は、この規程の変更を行う場合、
予め理事会の承認を得なければならない。
い。

付 則

この規程は、社団法人地盤工学会が公益社団法人
の設立の登記の日から施行する。

この変更規程は、2019年4月19日から施行する。

本部役員【中部支部】

理事・副会長（令和3年6月4日開催、本部通常総会にて就任）

小高 猛司 名城大学

監事（令和4年6月14日開催、本部通常総会にて選任予定）

酒井 俊典 三重大学

第9期代議員（令和4～5年度）【中部支部】

（令和4年6月14日開催、本部通常総会にて選任予定）

水野 和憲 岐阜工業高等専門学校

武藤 裕久 矢作建設工業(株)

河村 精一 基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社

藤井 幸泰 名城大学

松田 達也 豊橋技術科学大学

野田 利弘 名古屋大学大学院

令和4年度 支部顧問名簿

2022年4月12日 現在

川本 眺万	名古屋大学 名誉教授
植下 協	名古屋大学 名誉教授
松岡 元	名古屋工業大学 名誉教授
成田 国朝	愛知工業大学 名誉教授
宮口 友延	
八嶋 厚	岐阜大学 工学部 特任教授
中井 照夫	(株)地域地盤環境研究所名古屋事務所(解析技術開発センター) 技術顧問・中部大学客員教授
山田 雅雄	名古屋市立大学 特任教授
松澤 宏	
小西 純一	信州大学 名誉教授
杉戸 真太	岐阜大学 特任教授、清流の国ぎふ防災・減災センター長
洪水 雅良	(株)中野地質 技師長
板橋 一雄	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授
張 鋒	名古屋工業大学大学院 工学研究科社会工学専攻 教授
坪田 邦治	株式会社シマダ技術コンサルタント 技術管理部 部長
中野 正樹	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授
山下 研二	中日本建設コンサルタント株式会社
杉井 俊夫	中部大学 工学部都市建設工学科 教授
酒井 俊典	三重大学大学院 生物資源学研究科 教授
野田 利弘	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授
小高 猛司	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授
前田 健一	名古屋工業大学 社会工学専攻環境都市分野 高度防災工学研究センター 教授

令和4年度 事務局担当者

支部長	沢田 和秀	岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 教授
幹事長	水野 和憲	岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
副幹事長	小島 悠揮	岐阜大学 工学部社会基盤工学科 准教授
事務員	瀬瀬 育子	公益社団法人土木学会中部支部 職員(業務委託)

公益社団法人 地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 ポーラ名古屋ビル8F

TEL: 052-222-3747 FAX: 052-222-3773

E-mail: jibanchu@jeans.ocn.ne.jp